

予算特別委員会

2日間にわたり慎重審議

安心・安全なくらし

消防団運営事業

3994万4000円
消防団詰所8力所と消防車輜8台に掛かる費用。

Q 消防団員の確保に困っているが。

A 広報、ホームページなどを通して、町民に消防団活動の理解を深めたい。

防災備蓄倉庫設置事業 幸田高校

632万4000円
はしご自動車オーバーホール
2300万円

防犯灯設置工事

150万円

防犯カメラ設置工事

150万円

えこたんバス管理運営事業

2482万4000円

親切行政運営事業

4993万4000円

Q 年間の要望件数は。

A 区長を中心に土木課への要望件数は515件で、このうち476件、92.4%を処理している。

教育・文化

楽器購入費(3中学校)

500万円

就学援助事業

1450万2000円

Q 対象人数は。

A 小学生は144人、中学生は92人。

ハッピネス・ヒル・幸田用地購入費
7787万4000円

Q 場所はどこか。

A 町民会館北側駐車場の借地解消。

学校給食センター増築設計、用地購入
1935万1000円

Q アレルギー対応除去食実施の計画は。

A 児童・生徒数増によるコンテナ保管庫拡大のため、除去食は今後検討する。

六栗公民館駐車場造成工事

3410万円

学校施設整備工事(給食用エレベーター改修工事等)

8984万3000円

Q エレベーター改修はどこか。

A 坂崎・豊坂小学校の2校。

環境・まちをきれいに

広域ごみ処理施設建設候補地検討業務負担金

63万円

ごみ処理広域化計画に基づき、現在稼働中の岡崎市と西尾市のクリーンセンターを2市1町で集約した施設を建設。

Q 稼働スケジュールは。

A 平成42年度の供用開始が決定している。

岡崎市ごみ処理委託事業

1億7656万2000円

剪定枝チップ化事業

375万7000円



幸田中学校吹奏楽部の演奏



オーバーホールを待つはしご自動車



更新する剪定枝チップ化機械

Q 購入理由、性能は。
A 経年劣化により破損個所が出てきた。従来と同じ性能。

こんな事業をチェック

新規 67事業 12億528万9000円

健康・福祉 みんな元気

災害時避難行動支援者システム委託料

190万円

登録は何人いるか。

2月8日現在で1295人。

ヘルプカード 64万円

利用はいつから。

5月の下旬に、要支援者登録した人に郵送。

普及状況は。

愛知県では7月に広報により周知を。また東京ではオリンピックに向けて啓発活動をしている。

シヨートステイ実施設計

345万6000円

設置場所は。

地域活動支援センターの隣に予定。

介護保険特別会計繰出金

2億7065万2000円

高齢者に福祉タクシーの考えは。

障がい者は福祉タクシー、高齢者はえこたんバスでおこなっていく。

おたふくかぜ任意予防接種

89万8000円

旅券事務権限移譲準備

(パスポート発行)

127万6000円

いつから利用できるか。

平成31年4月から町で発行。

手話通訳者嘱託員報酬

240万円

勤務日 月から金曜日

勤務時間 9時から17時



窓口の手話通訳

協働・参画

高校生カンボジア派遣事業交付金

230万円

募集などスケジュールは。

10人程度の募集で、7月ごろ選考会をおこない、十数回のミーティング後3月に実施。



カンボジアで交流

第2次男女共同参画推進プラン策定業務

300万円

活動目標は。

審議会などの女性委員の比率を30%が目標。現在は25.07%。

タウンプロモーション事業

100万円

事業内容は。

情報ツールを活用し、企画及び発信していく。

公園灯LED化工事費

1200万円

事業内容は。

情報ツールを活用し、企画及び発信していく。

公園灯LED化工事費

教育・救急医療への重点予算

北部地域の児童・生徒の増加に対して、北部中学校の校舎増築、救急医療の充実として、2年後開業の大病院への支援などが計上されている。

編成された予算は、財政健全化を確保し、持続可能なまちづくりに向けての配慮がある。

「みんなでつくる元気な幸田」の実現に一層の努力を期待する。

賛成討論

鈴木 重一 議員

反対討論

丸山千代子 議員

福祉増進のまちづくりを

法人町民税の一部国税化の影響で減収が予測される。制限税率への引き上げで自主財源確保を。

人口増加に伴う子育て施策、教育費の伸びなど基盤整備が追いつかない。3歳未満児、児童クラブの待機解消を。学校給食センター増築に食物アレルギー対応室を。

基金は住民要望に活用し、福祉増進のまちづくりを。

反対討論

伊藤 宗次 議員

扶助費敵視！仕事するな予算だ

扶助費が10年間で2倍以上増え、財源確保が大きな問題だと扶助費敵視する町長だ。

財源確保なら、大企業に適正課税適用し財源確保を。ごみ袋は自治法違反だ。

人口増える町になぜ定住化促進の政策がないのか。借金返せ！借金するなは、仕事らしき仕事せず、文章あっても意味不明町長ではないのか。